

龍高通信



☆122号☆
兵庫県立龍野高等学校
総務部
Tel:(0791)
62-0886

着任のごあいさつ

校長 前田 達也



令和二年四月一日に、県立龍野高等学校の第二十八代校長に就任しました前田達也と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

県立龍野高等学校は、城下町の面影を残し、「播磨の小京都」と風情を楽しめる「たつの市」の旧市街地の龍野町に位置しています。今年度創立一二三年目を迎へ、四万二千余名の本校卒業生は、学び舎を巣立ち世界に羽ばたき、各界、あらゆる分野で活躍し、世界をリードし、社会の一隅を照

らし活躍しています。その功績や勇姿は、周知の事実で、在校生や私を含めた教職員のすべてが、卒業生を誇りに思い、頼もしく感じています。

県下で屈指の歴史と伝統を誇る学校の校長として着任し、その使命、果たさなければならぬ責務の大きさに改めて身の引き締まる思いで、その覚悟と決意を強固にしているところです。

建学精神は校訓にあり。「向上」「友愛」「団結」の校訓を根幹に据え、確かな学力と豊かな感性・人間性の涵養に努め、人への思いやりと優しさを持つ人材の育成を目指します。

さらに、平成三十年度から文部科学省の研究開発指定であるスーパーサイ

エンスハイスクール(S・S・H)2期目(実践型)の指定を受け、「グローバルに科学の輪をつなぐ」探究過程の可視化により一人ひとりを深い学びへ導く指導方法の開発をテーマに、「龍野から世界へ」を合言葉に、将来の社会の中で輝ける力に身に付け、国家や国際社会に貢献しようとする高い志を持つ人材の育成を目指します。

グローバル化が進み、世界の動きや変化が加速度的に激化し、全く予見しがたい新しい時代が到来しました。新たな価値を創造するリーダーであればこそ、他者を思いやり、多様性を受け入れて尊重し、一人ひとりが快適に暮らすことができる社会を志向する倫理観、価値観を身に付けることにも一層力点を置きます。

これらの目標を達成するために学校生活において、大切にすることを示します。

第一に、今、何をすればいいのかを、自律的に主体的に考えて、かけがえのない今を、大切に生活すること。

第二に、心技体を練磨すること。特に「心」を磨くことを念頭に生きて生活すること。「練磨する心」とは「感謝する心」「他者を思いやる心」「自立・自律する心」「挑戦する心」「辛抱する心」などです。そして、龍高生としての自覚、誇り、気概を持つて生活することです。「練磨する心」とは、「思考能力」、「判断能力」、「コミュニケーション能力」、「問題解決能力」、「人間関係調整能力」、「人生設計能力」、「行動力」、「協調力」などです。「練磨する心」とは、部活動や地域貢献などとおして、激動する環境のなかで、逆境を跳ね返し、最後までやり抜く体力を身に付けることです。

第三に、「ご縁」を大切にすること。「ご縁」とは、「時のご縁」、「場のご縁」、「人のご縁」、「学びのご縁」です。

「時のご縁」で「青春真っ只中、高校3年間の「時」を大切にすること。」「場のご縁」で「龍高」への母校愛、そして、郷土愛を大切にすること。「人のご縁」で「出会った友やライバル、そして、お世話になった恩師を大切にすること。」「学びのご縁」で学問や芸術、そしてスポーツや武道、稽古事を大切にすることです。

生徒諸君は、龍高の先輩方が築いてくれた良き伝統を受け継ぎ、勉強、部活動、学校行事で、充実し有意義な高校生活を送ることを願っています。

最後になりましたが、教職員が一丸となって、育友会、同窓会との絆や、地域の方々との連携を深め、「龍高」の卓越した伝統を引き継ぐとともに、「チーム龍野」として世界を舞台に

活躍できる生徒を育成して参ります。

今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。任のあいさつといたします。

教職員異動

離任者(転出先)

北峯 照之(退職・小野)

尾崎 啓一(退職・播磨東教育事務所)

山本 道康(退職)

井筒 信一(退職)

尾崎 綾香(県立大附属)

吉田 成利(姫路市立姫路)

水田 佳希(たつの市立龍野西中)

川上 紗蒼(上郡)

林 亜紀奈(県教委総務課)

北條 順子(西はりま特別支援)

転入者(前任校)

前田 達也(高砂南)

杉谷 かおり(県立大附属)

猶原 正通(相生)

蔭木 麻希(網干)

渡部 文也(龍野北)

吉田 由香里(姫路飾西)

竹本 康子(伊和)

全校集会・新入生への説明会

兵庫県下に発令された緊急事態宣言を踏まえ、今年度は全県立学校において「着任式」「始業式」を実施せず、簡素化した形で「全校集会」を行い、「入学式」ではなく、「説明会」を実施しました。

4月8日(水)午前中に在校生に向けて行った全校集会では、着任者と離任者の紹介がありました。その後、生徒指導部長の話、諸連絡として教務部長からの連絡と表彰者の披露を行いました。例年であれば体育館で行う始業式は、好天に恵まれた満開の桜のもと、下グラウンドで実施しました。



4月8日(水)午後1時より、新入生(第75回生)への説明会を行いました。

校長が新入生の入学を許可したのち、代表が元気づく宣誓しました。新入生へ向けた校長あいさつがあり、その後、祝電披露とCD放送による校歌披露を行いました。



表彰伝達

【陸上競技部】

新人女子第34回西播高校駅伝競走大会
第3位

【吹奏楽部】

第30回西播高等学校アンサンブルコンサート
打楽器3重奏 金賞

【課題研究】

兵庫県立人と自然の博物館 第15回共生のひろば館長賞
(3年7組 石谷、市瀬 上川、北野、白髭)

審査員特別賞

(3年7組 西村、新井 河上、小堀、堀口)
アトラクティブプレゼンテーション賞
ビッグデータ賞
(3年7組 瓢、池田、井上、岸本、松村)

進路結果

令和2年3月30日現在、龍野高校の主な国立大学の合格者数は以下の通りである。京都大学2名、大阪大学2名、神戸大学1名、北海道大学1名、岡山大学16名、広島大学3名、兵庫県立大学14名。国立大学93名、公立大学61名、合わせて国立大学の合格者数は154名である。また主な私立大学の合格者数は、同志社大学8名、立命館大学13名、関西大学11名、関西学院大学21名。私立大学の合格者数は669名であり、昨年度より合格者が100名以上減少した。

に11名で合わせて13名、専門学校に19名の合格者を出した。数字は令和2年3月卒業の72回生と過年度卒業生を合わせたのべ人数である。なお今年度の就職者はいなかった。

また、72回生については国立大学に137名の合格者を出した。昨年度の入試結果からみると見劣りすることは確かだが、センター試験7科目型900点満点の平均点が、文系型で前年差マイナス22点、理系型で前年差マイナス19点(河合塾推計)というなか、70回生、69回生と遜色ない結果であった。全体として72回生は志望大学にこだわり積極的にチャレンジする生徒が多く見られ、また、中期・後期で38名の合格者を出すなど最後まで粘り強く受験し、よく頑張ってくれた。

6月行事予定

- 1日(月) 創立記念日(登校日)、更衣
- 1日(月)～12日(金) 分散登校、17時30分完全下校
- 3日(水) キャンパスカウンセラー来校
- 12日(金) キャンパスカウンセラー来校
- 13日(土)～14日(日) 大学入試共通テスト模試 (3年)
- 24日(水) キャンパスカウンセラー来校
- 25日(木) SSH評価アンケート、SSH4つの力アンケート

